

(1) キャリアカウンセリングの進め方

キャリアカウンセリングと聞いて何を想像されますか? 「心理的な問題を抱えている人の治療?」。いえいえそうではなく、キャリアについて

ナビゲーター

課題や悩み(仕事が合わない、スキル不足、評価に不満、職場の人間関係、ワークとライフの葛藤、転勤等)を抱えている人の相談に乗り、援助・助言・指導を通じてその課題や悩みを解決する支援活動の

人生100年時代に向けたキャリア開発

その考え方と方法

◆11◆

ことです。現在特に問題はなけれど、今後どのように働いたらいいのか、という相談への支援も多くあります。

ではその進め方はどんなものでしょうか? まず自己理解(自分自身を見つめなおす、よく理解すること)の支援、次に仕事理解(職種、業界、企業、労働環境など)、そしてその上での目標設定、ここで可能であればインターンシップやその仕事の就労体験(啓発的経験)。その後、設

従業員と会社をウィンウィンの関係に

キャリアカウンセリングとは何か

定した目標に向けての意思決定、具体的な方策の実行、新たな仕事・環境への適応と進みます。詳しくは次回以降にご紹介します。

(2) キャリアカウンセリングのポイント

目標設定、意思決定、方策の実行においてキャリアカウンセラーの役目はあくまで支援です。実際に実行するのは相談者自身です。相談者自身が「自分のキャリアは自分で構築する」という気持ちを持つ

つことが大切です。その背景には、「一度入社した会社で生涯働き続ける、あるいは従業員のキャリアは企業が責任を持つ」といった従来型の労働環境が崩壊しつつある

(3) キャリアカウンセリングの効果

期待できる効果として、仕事の悩みが解決、仕事へのモチベーションが上がる、離職率が下がる、というメリットがあることを理解していただく必要があります。キャリアカウンセラーの啓蒙活動が求められるところです。

(4) キャリアカウンセリングの課題

相談内容は守秘義務により口外しないことになっていますが、企業内においては上司や人事部に知られてしまうのではないかと心配する従業員もいます。守秘義務についての社内的なルールを明確にしておく必要があります。

チベーションが上がり会社とウィンウィンの関係が築ける、あるいは進むべき方向性が見つかる、などがあります。

しかし決してそうではなく、従業員のモチベーションが上がり企業にとっても生産性が上がる、離職率が下がる

こしてしまい会社を辞められては困る」と考える方もいます。

【1級キャリアコンサルタント 一般社団法人日本産業力カウンセラー協会 員 大学非常勤講師(キャリア教育担当) 長岡 秀孝】
(火曜日掲載)

